

八十里越事業をメキシコの留学生が見学

7月6日(水)、長岡技術科学大学のメキシコからの留学生10名が国道289号八十里越事業の工事現場を見学しました。この見学会は、留学期間中に効果的な工学教育を行い「日本語のできる指導的技術者の養成」を目指す同大学の「メキシコツイニング・プログラム」に協力して、日本の土木技術を学んでもらうために実施しました。

留学生は、実際に掘削のすすんでいるトンネル内部や、橋梁の下部工事の現場で説明を受け日本の高度な工法や作業工程に関心を示していました。



濁水処理の実験に興味深々



トンネル掘削先端部で熱心に説明を聞いていました



雨天の中でしたが、高台から橋梁工事の説明を聞き、技術力の高さに驚いていました

『ちょーこく通信』 第51号(平成28年7月号)より